

第27回 東京上野ロータリークラブ 奏楽堂コンサート

第1部 モーツァルト:《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》《アヴェ・ヴェルム・コルプス》《フルートとハーブのための協奏曲》

第2部

ミュージカル

# 岬のクフィ

原作・脚本 成田 英明 ● 作曲 松下 功

コンサート形式

あらすじ <赤い大蛇に追われた鹿>

太平洋上に浮かぶある島での出来事。島には北の部族と南の部族がお互いを知らずに住んでいました。ある時、南の部族は新天地を求めて船出することになり、南の若者ダンが島を離れる前に仲間と島の探検にでかけます。そして若者たちは岬の上から聞こえてくる不思議な歌を耳にします。初めてのはずなのに、心の奥のどこかでは知っているような歌でした。その歌の主クフィとダンは一目で恋に落ちますが、クフィには既に父親によって定められた婚約者がいました。そのような事情のもとでもめ事が起こり、クフィは岬から転落して行方不明になります。村人の必死の捜索にもかかわらずクフィは見つかりません。

ダンは岬に一人残ってクフィを探します。数年経ち岬は二人の思い出の白い花でいっぱいになりますがクフィは依然見つかりません。村人が少しずつダンのクフィに対する愛情を理解しかけてきたとき、クフィの婚約者カムラはダンを縛り首にするよう主張し、部族間の対立は一挙に高まります。

あわや一触即発、両部族が対峙しあうときに、クフィの歌が聞こえてきます。南の部族はその歌が自分たちの古い歌であったことによりやく気付きます。クフィの歌や旗印の類似性から双方はお互いが祖先を共にする同胞だったと理解するに至ります。クフィはそのことを後世に伝える役割を負っていたのです。

クフィは戻ってきたものの記憶を喪失していました。両親をさえ覚えていないクフィの記憶には部族の歌と、ダンとの出会いだけが残っていたのです。双方の部族はダンとクフィの出会いを機に自分たちの未来を二人に話すことにしました。クフィの歌にある「赤い大蛇に追われた鹿」は根源的故郷を追われた現在の人類自身を象徴しているとも言えましょう。

岩下 晶子 ● 平中 麻貴 ● 渡邊 智美 ● 大田 翔 ● 田中 俊太郎 ● 河野 陽介

指揮 矢崎 彦太郎 ● 東京藝術大学教員・卒業生・学生有志オーケストラ (Tp. 杉木 峯夫 名誉教授 Vn. 澤 和樹 教授 ほか)

2013年 3月22日(金) 17:00 開演 (16:30 開場)

会場 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂

台東区上野公園8-43 Tel. 03-3824-1988

※ 整理券を発行しますので、2013年3月15日までに事務局 (平日10:30~17:00) にお電話にてお申込みください。

お問い合わせ 東京上野ロータリークラブ事務局 Tel. 03-5814-2491

主催 ● 東京上野ロータリークラブ 協力 ● 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学音楽学部同声会

入場  
無料  
【要整理券】



第27回

東京上野ロータリークラブ

## 奏楽堂コンサート

第1部

# MOZART

モーツァルト

《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》ハ長調 K.525

《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調 K.618

《フルートとハーブのための協奏曲》ハ長調 K.299

フルート:窪田 恵美 ハーブ:池城 菜香

第2部

ミュージカル「岬のクフィ」(2011)コンサート形式

原作・脚本:成田 英明 作曲:松下 功

ソプラノ:岩下 晶子、平中 麻貴 メゾ・ソプラノ:渡邊 智美 テノール:大田 翔 バリトン:田中 俊太郎、河野 陽介

指揮:矢崎 彦太郎 東京藝術大学教員・卒業生・学生有志オーケストラ (Tp. 杉木 峯夫 名誉教授 Vn. 澤 和樹 教授 ほか) お話:松下 功

2013年 3月22日(金) 午後5時00分開演 (午後4時30分開場)

会場: 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂 (台東区上野公園8-43 Tel.03-3824-1988) 入場無料 [要整理券]

※ 整理券を発行しますので、2013年3月15日までに事務局 (平日 午前10時半~午後5時) にお電話にてお申込みください。

お問い合わせ:東京上野ロータリークラブ事務局 Tel.03-5814-2491

主催: ● 東京上野ロータリークラブ 協力: ● 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学音楽学部同声会

## ご挨拶

東京上野ロータリークラブは、昭和59年1月14日に創立され、29周年を迎えました。創立後間もない昭和62年に、「旧東京音楽学校奏楽堂」の老朽化に伴い、台東区が譲り受け、現在地に改修移築されたのを機に、この由緒あるホールで、地元のお子さん達のための演奏会を開催いたしました。その後、昭和63年1月には、この「旧東京音楽学校奏楽堂」は国の重要文化財に指定されました。

その後も地域の方々とロータリー留学生の皆様演奏を楽しんでもらい、将来性のある若い演奏家に活躍の場を与えようと毎年コンサートを続け、今年で27回目を迎えることができました。この活動に対して、2006～07年度RI会長から「意義ある業績賞」を受賞いたしました。

しかしながら、来月から、この旧奏楽堂ホールは、東日本大震災の影響調査および改修工事のため使用できなくなり、また、建物への入館も禁止となります。一日も早く改修工事が終了し、ホールの使用が再開されるよう、祈るばかりです。

今年のコンサートは、東京藝術大学演奏芸術センターの松下功教授にお願いし、藝大在学および卒業生の方々の編成によるオーケストラで、モーツァルトの室内楽、創作ミュージカルからのハイライトを演奏していただきます。国の重要文化財のホールでの素晴らしい演奏をごゆっくりお楽しみください。

東京上野ロータリークラブ  
会長 佐藤 勝



## Program プログラム

第1部 W.A.モーツァルト 《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》ハ長調 K.525  
《アヴェ・ヴェルム・コルプス》ニ長調 K.618  
《フルートとハープのための協奏曲》ハ長調 K.299

フルート 窪田 恵美(学部) ハープ 池城 菜香(学部)

(休憩)

第2部 ミュージカル『岬のクフイ』(2011)コンサート形式 原作・脚本 成田 英明 作曲 松下 功

ソプラノ 岩下 晶子(大学院博士)、平中 麻貴(大学院修士) メゾ・ソプラノ 渡邊 智美(教育研究助手)  
テノール 大田 翔(大学院修士) バリトン 田中 俊太郎(大学院修士)、河野 陽介(大学院修士)

指揮 矢崎 彦太郎

管弦楽 東京藝術大学教員・卒業生・学生有志オーケストラ(トランペット 杉木 肇夫 名誉教授 ヴァイオリン 澤 和樹 教授ほか)

お話し 松下 功

## 東京上野ロータリークラブ

ロータリーとは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において、高度な道徳的水準を守ることを推奨し、世界の親善と平和の確立に尽くすことを目指す、実業人および専門職業人が世界に結び合った団体です。

東京上野ロータリークラブは、「奉仕の理想」を各人の個人生活および社会生活の基盤とすることに同意した人達によって、上野を中心に台東区、文京区をテリトリーとして、昭和59年1月に創立されたロータリークラブです。文化的遺産に恵まれた上野の地域性を生かし、東京の北の玄関にふさわしいクラブとして、地域の発展を考え、成長していくことを念願としております。



## 旧東京音楽学校奏楽堂

東京藝術大学音楽学部の前身である東京音楽学校の施設として、明治23年(1890年)に建てられた奏楽堂は、日本に初めて誕生した木造の洋式音楽ホールです。

この舞台では、かつて滝廉太郎がピアノを弾き、山田耕筰が歌曲を歌い、三浦環が日本人による初のオペラ公演「オルフォイス」でデビューを飾りました。

建築史の上でも、奏楽堂は、天井をかまぼこ型にしたり、客席の床や周囲の壁にぎっしり藁束(わらたば)を詰めるなど、音響上の配慮から、それまでにみられない貴重な実験が行われています。

舞台正面のパイプオルガンは、大正9年に徳川頼貞侯がイギリスから購入、昭和3年に東京音楽学校に寄贈したものです。パイプ数1,379本。いまでは世界でも珍しい空気式アクション機構を持つ、わが国最古のコンサート用オルガンです。

このように由緒ある奏楽堂も、老朽化から、昭和56年に使用が中止され、その後台東区が譲り受けて、昭和62年に現在地に移築保存されました。

昭和63年1月に国の重要文化財に指定され、現在「奏楽堂日本歌曲コンクール」「奏楽堂デビューコンサート」「N響メンバーによるコンサートシリーズ」など数々の自主事業のほか、一般の使用も含め、年間百数十回の演奏会が開かれています。